

セーフコミュニティ認証 審査員

しら いし よう こ

白石 陽子 博士(政策科学)

一般社団法人日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事
国際セーフコミュニティネットワーク 理事
アジア地域セーフコミュニティ支援センター連合 事務局長
立命館大学衣笠総合研究機構 研究員
韓国亜州(アジョー)大学 医学部 客員教授
韓国仁済大学(インジェ)大学 顧問教授
セーフコミュニティ・セーフスクール公認認証審査員



立命館大学大学院政策科学研究科在籍中に安全なまちづくり活動「セーフコミュニティ(SC)」に出会う。京都府・立命館大学等からなる研究プロジェクトチームの一員としてSC発祥の地であるスウェーデンのカロリンスカ研究所(医科大学)に派遣されたことがきっかけでSCの研究を始める。博士号取得後は立命館大学の研究員(ポスドク)を経て、京都大学大学院医学研究科「安寧の都市ユニット」にてSCの研究を続ける。

2011年に、これまでのSC活動に関する研究および支援の実績を認められ、WHOセーフコミュニティ協働センター(当時)からSC支援センターとして認証され「一般社団法人セーフコミュニティ推進機構」を立ち上げる。同年12月に「国際ナショナルセーフスクール(ISS)」の支援・認証センターとしても認証され、安全な学校づくりの活動の支援・研究を開始する。国外の活動については、2008年から認証センター(韓国)の公認コーディネータ・審査員、2013年からは(制度変更により)WHOセーフコミュニティ協働センター、2015年から国際セーフコミュニティ認証センターから公認認証審査員として認証され、アジアを中心にSCおよびISS活動の支援および認証審査を行っている。

セーフコミュニティ現地審査 監査員

パク・ナムス(朴南秀) 博士(公衆衛生行政)

韓国 協成(ヒュプスン)大学 衛生管理学部 教授
韓国 協成(ヒュプスン)大学 地域健康安全センター 代表
韓国 亜州(アジョー)大学 医学部 地域安全向上センター 客員教授
セーフコミュニティ・セーフスクール公認認証審査員



梨花女子大学衛生教育学部を卒業し、延世大学大学院で博士号(衛生行政)を取得後、亜州(アジョー)大学医学部外傷予防地域安全向上センター(セーフコミュニティ支援・認証センター)において国内外のセーフコミュニティの支援に携わる。

その後、協成(ヒュプスン)大学において外傷サーベイランス及び安全向上に関する政策評価の研究を進めるとともに、同大学の地域健康安全センターの代表として国内のセーフコミュニティ及びセーフスクールを幅広く支援している。また、国外に関しては、セーフコミュニティ・セーフスクール認証審査員として、各国の自治体や学校の認証審査を長年経験する。日本においても、多くの自治体の事前指導・現地審査においてご支援いただいている。前回の亀岡市のセーフコミュニティおよびセーフスクールの認証審査を担当している。

これらの実績を認められ、現在では国(教育省や健康福祉省)や京義道、ソウル市ソンプァ区などにおいて、安全対策・学校安全・安全教育などの専門アドバイザーを務める。

